

六甲オルゴールミュージアム 特別展「オルゴールで楽しむ“不思議の国のアリス”」 秋は、切り絵作家が描くモノクロームの世界

阪神電気鉄道株式会社（本社:大阪市 社長:藤原崇起）のグループ会社である六甲山観光株式会社（本社:神戸市 社長:岡本交右）が、六甲山上で運営する「六甲オルゴールミュージアム」（博物館相当施設）では、『不思議の国のアリス』刊行150年を記念して、7月10日（金）から11月23日（月・祝）まで特別展「オルゴールで楽しむ“不思議の国のアリス”」を開催します。会期の前期と後期では内容が変わり、9月4日（金）から始まる後期では、切り絵作家 横山路漫（よこやまろまん）とのコラボレーション企画を行います。

特別展「オルゴールで楽しむ“不思議の国のアリス” ～切り絵で描くモノクロームの幻想～」概要

【開催日時】 9月4日（金）～11月23日（月・祝） 休館日: 9月10日（木）

【企画内容】 本展では『不思議の国のアリス』を題材に現代のアーティストが制作した作品をスクリーンに投影し、アンティーク・オルゴール等の生演奏とともに上演します。視覚や聴覚を使って立体的に作品を鑑賞し、『不思議の国のアリス』の世界観を体感する試みです。

本展では、切り絵作家、横山路漫（よこやまろまん）が、本企画のために制作したモノクロームの切り絵作品によって、物語を構成し、幻想的なアリスの世界を表現します。

【上演時間】 10:30から16:30までの毎時30分から（各回約15分間）

※入館料のみでコンサートをご覧いただけます。
※毎時00分から別プログラムのコンサートも実施しています。

【演奏楽器例】 ポリフォン54型“ミカド”（ディスク・オルゴール 1900年頃 ドイツ製）、レジーナフォン155型（ディスク・オルゴール／蓄音機 1910年頃 アメリカ製）など

【企画の意図】 イギリスの数学者C・L・ドジソンがルイス・キャロルの筆名で書いた『不思議の国のアリス』は1865年に初版が刊行され、今年で150年目を迎えます。これを記念し、本展を企画しました。作品の書かれた19世紀末頃に全盛期を迎えていたオルゴール等の自動演奏楽器の演奏を通し、物語の描かれた時代の空気感を再現します。現代のアーティストと所蔵品をコラボレーションする当館独自のプログラムです。

■横山路漫（よこやまろまん）プロフィール

京都府京都市出身。イラストレーター・切り絵作家。切り絵制作の傍ら、NHK文化センター・よみうり文化センターなどカルチャースクールで切り絵の講師を勤める。成安造形大学イラストレーションクラス非常勤講師。



横山路漫「へんてこお茶会」
（切り絵、2015年）



上演イメージ

<関連イベント>横山路漫 切り絵ワークショップ

切り絵作家、横山路漫が来館し、直接指導する切り絵ワークショップを開催します。気軽に切り絵を楽しめるコースとアリスのキャラクターをつくるコースの2種類を実施します。

【開催日】 10月12日（月・祝）

【内容】 ①切り絵シール制作・・・参加費540円（ポストカード・プレゼント付）、予約不要（12:00～16:00随時受付）、所要時間: 15分程度

②アリスキャラクターの切り絵制作・・・参加費1,080円（一筆箋プレゼント付）
要予約（予約開始日: 9月4日）、定員: 6人×3回（13:00～、14:00～、15:00～）、所要時間: 約30分



アリスの切り絵完成イメージ

<リリースに関するお問い合わせ先>

六甲オルゴールミュージアム
TEL: 078-891-1284 / FAX: 078-891-0111

<営業概要>

【入館料】大人（中学生以上）1,030円、小人（4歳～小学生）510円
【営業時間】10:00～17:00（16:20受付終了）
【休館日】会期中9月10日（木）
【所在地】〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-145